



# 子ども応援便り

発行 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会

2021  
Vol. 29

## 日本の子どもたちにも夢を！

俳優デビューから10年、映画「新聞記者」で日本アカデミー賞の主演男優賞を受賞した松坂桃李さん。幼少期の夢は漫画家になることだったそうです。俳優の道に進むきっかけや役を演じるうえで大切にしていること、子どもたちへのメッセージを語ってくれました。

子ども応援便りインタビュー

俳優 松坂桃李さん

### 小さな目標を一つひとつクリアしていつか、なりたい自分に辿り着こう

—松坂さんはどんなお子さんだったのですか？  
小学校高学年の頃、ミニ四駆に熱中していました。分厚い漫画雑誌や段ボールを重ね、自分のコース

を作っては走らせていました。マンガやアニメも好きで、お気に入りのキャラクターをノートに描いて「漫画家になれたらな」と思っていたこともありましたが、小

学校の卒業アルバムを見返すと、将来になりたい職業には「消防士」と書いていました。乗り物が好きだったので、「消防車に乗りたい」が理由だったんですけどね。

—俳優の道に進んだきっかけは？

大学時代、友人の薦めでファッション誌のオーディションを受けました。最終審査で他の参加者がギターの弾き語りや中国語の歌を披露する中、僕が選んだのはドナルドダックのモノマネ（笑）。絶対に落ちたと思いましたが結果はグランプリで、今の事務所所属することになりました。その後、戦隊のレッド役が決まり、大学を休学して撮影に臨みました。

演技経験もなく、最初は毎日怒られてばかりでした。でも、周囲を見て必死に勉強するうちにスタッフとコミュニケーションが取れるようになり、自分のアイデアを出せるまでになったんです。1年間に及ぶ撮影が終わった時、「これほど本気で打ち込んだものは初めて」と気付き、俳優の仕事

—俳優の仕事で大切にしていることは？

映画やドラマという作品は永遠に残ります。俳優の仕事は作品に込められたメ

ッセージを多くの人に伝え、後世に残すことだと思っています。その役目を果たすために、まずは演じる人のことをよく知ることから始めます。演じるというのは、「自分の体」に「違う人格」を入れることですから、しぐさや言葉遣いなど、その人ならではのちよつとしたニュアンスを大切にしたいんです。それが歴史上の人物なら、文献などで調べてどんな気持ちでその時代を生きたのだろうか、と思いをはせてみます。そして、自分の役だけでなく、監督さんをはじめ作品に関わる人たちの思いや世界観の中で役柄を演じることを大事にしています。

—映画『いのちの停車場』では、小児がんの子どもの向き合う役でした。

未来を夢見る子どもがいる一方で、生きたくても生きられない子がいる。「頑張つて治そうね」という言葉が、こつした子どもたちには苦痛でしかない。一人ひとりの子どもと向き合う時、正解やテンプレートは存在しないと思いました。

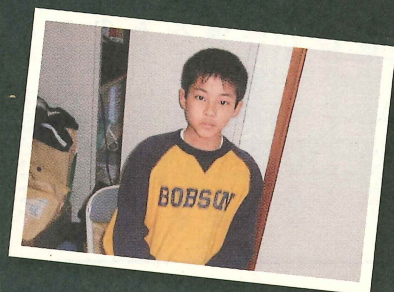
—子どもたちにメッセージをお願いします。

好奇心や興味は何かを始める原動力や継続する力になります。漠然とでもよいので好きなことや興味のあふれることを思い浮かべて、それを実現するための小さな目標を立ててみてください。僕の場合であれば、映画やドラマに主演するために、まずは主役の息子役をやるぞ、その次は主演の相手役だ、というように進めてきました。

目標が決まれば、必要な情報を集めやすくなります。多くの情報に触れ、選択肢を増やし、自分で判断することが大事です。そうやって一つひとつ目標をクリアしていくうちに、なりたい自分に辿り着けるのだと思います。

【プロフィール】

1988年神奈川県生まれ。2009年に俳優デビュー。19年の日本アカデミー賞では「新聞記者」で最優秀主演男優賞を受賞。NHK「今」にある危機とほくの好感度について」が4月24日、EX「あときキスしておけば」が4月30日よりスタート。公開待機作に『いのちの停車場』（5月21日）、『孤狼の血 LEVEL2』（8月20日）、『空白』がある。



小学4年生の頃、通っていた塾での松坂桃李さん





## オンライン座談会

# 教育・学習環境の変化が加速 「子どももの貧困率」上昇懸念

新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）による経済への影響が広がる中、7人に1人と言われる日本の「子どももの貧困率」の上昇が懸念されています。そこで、2021年3月14日、東京都立大学教授の阿部彩さんと、大阪府、兵庫県、兵庫県の小中学校に勤務する現役の教職員によるオンライン座談会を実施しました。

今回の特集では、座談会をもとに、感染症が学校現場や子どもの貧困の状況にどう影響を及ぼしているのかを探ります。

— 昨年3月、感染症の影響で突然の全国一斉休校となりました。再開後の学校はどんな様子でしたか？

**6月に学校を再開しました。感染防止対策として、居住地ごとにグループ分けし、午前と午後で分散登校にしました。体育館や広めの教室を活用するなどして、距離を取れるように心掛けました。**

再開は5月の後半でしたが、単学級なので学年ごとに登校日を分けていました。一斉登校できるようになったのは6月からです。

勤務校の中学校では、6月から各学級の人数を半数ずつにし、午前と午後の分散登校にしました。すると、子どもの発案で午前と午後のメンバー間で黒板を使ったメッセージのやりとりが始まりました。

### コロナ禍での学校・家庭生活 経済格差が子どもにも落とす影

2019年の厚生労働省調査によれば、17歳以下の子どもの貧困率は13.5%です。コ

ロナ禍の前からすでに、全国平均で7人に1人、つまり1クラスに5、6人は相対的貧困の状態にあります（グラフ1）。学校現場への影響はどう見えていますか？

**家庭の経済環境の影響は大きいと感じます。勤務校の小学校は3、4人に1人はコロナ以前から生活保護や就学援助を受けている家庭です。やはり、遅刻が多くなったと教員から聞いています。遅刻する子に朝、電話をして担任が自宅まで迎えに行くケースもあります。家庭学習の環境も整っていないので、昼休みや放課後に担任が個別対応するなど、教員の負担も大きくなっていると感じます。**

中学校では進路の問題が出ています。今年度、中学3年の担任でしたが、受験料や授業料が用意できないとの理由から、私立から公立に志望変更した生徒が複数いました。その影響が、公立高校の倍率が例年より上がり、志望校のランクを下げる生徒も出てきました。経済的な事情で希望する進路を選べない子どもは以前から一定数いましたが、コ



ると予測されていますから、それに備え、教育環境や支援体制を整備しておくことが重要です。

### 貧困・孤立状態になりやすい ひとり親、外国ルーツの家庭

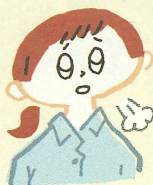
昨年は家庭とのコミュニケーションにも苦労しました。本校の学区（校区）には外国にルーツのある子どもが多くなります。こうした家庭は、学校とのつながりがなくなると地域から孤立しやすくなることを実感しました。例えば、

言葉の壁は本当に大きいですね。日本語指導を必要とする子どもが増えるにつれて、保護者とのやりとりも複雑、困難になってきています（グラフ2）。

コロナの正確な情報を伝えるために、多言語化された資料を持って担任が各家庭を訪問し、身振り手振りを交えて説明した、ということもありました。

外国籍のひとり親家庭の生徒の進路相談で、保護者の寂しい顔を見て胸が痛みました。保護者は日本語が話せないの、面談で子どもの通訳を介しての会話をしていううちに「私は子ども

のことを何も分かってあげられない」と。教育委員会から通訳を派遣してもらえないこともあります。支援体制は不十分です。



そうした家庭ほど、貧困状態に置かれやすいと言えます。例えば、「ひとり親」家庭の

レット端末が支給されました。教員自身も初めてのことで、設定など戸惑うことはありますが、そうした専門外のことまですべて引き受けざるを得ません。教員自身もしんどくて、疲労していくことが子どもに影響してしまわないか心配です。

示されました。教員がすべて抱えるのではなく、SSWなどの専門職と連携できる体制を早急に整える必要がありますね。

SSWという名前は聞いたことはありますが、実際に顔を合わせたことはありません。事務職員は就学援助制度などお金に関わることを扱うので、支援制度に詳しいSSWはありがたい存在だと思います。もっと広まってほしいです。

SSWが社協に同行して保護者をサポートしてくれたことがありました。ただ、常勤ではないので、スムーズな連携には事前にご相談が必要なのです。ぜひ学校に1人常駐してもらいたいです。

国レベルでは、SSWが子どもの福祉を担当する、要保護児童対策地域協議会をつくり、大変な状況の子どもを支援するなどのモデルが提起されています。ですが、学校現場で十分に機能していないことが改めて浮き彫りになりました（グラフ4）。国や地方自治体には、専門職やコーディネーター人材の確保・育成などのた



他機関と連携する際にも課題があります。生徒の家庭を行政の福祉部局や社会福祉協議

### 阿部 彩(あべ・あや)

東京都立大学教授、子ども・若者貧困研究センター長。専門は貧困の測定。社会情勢において子どもの貧困がどのような状況にあるのかを長年研究している。

### 大阪府・小学校事務職員

採用8年目、1児の父。就学援助率の高い地域の小学校で、子どもや保護者と寄り添いながら日々奮闘中。

### 兵庫県・小学校教諭

所属校には外国にルーツのある子どもが多数在籍。地域と連携し、多文化共生の教育活動を実践している。

### 神奈川県・中学校教諭

3学年の学年主任。経済格差で子どもの進路に大きな影響が出ることを実感するなど 苦悩の一年を過ごした。



## 義務教育から高等教育まで 子どもの学びを支える制度

国や自治体による主な支援制度をご紹介します。各制度ともこれまでは前年度の所得などをもとに金額などが認定されていましたが、家計急変で非課税相当となった世帯も対象になる場合があります。詳細は居住地の都道府県・市町村ウェブサイトなどでご確認ください。

### ● 就学援助制度 小・中学生

経済的な理由により児童・生徒の小・中学校（義務教育）への就学が困難な家庭に対し、市町村が学校給食費や学用品費等の費用の一部を援助する制度

#### ≫ 対象者

生活保護法に規定する「要保護者」に区分される家庭または各市区町村の独自の基準で「準要保護」に区分される小・中学生のいる家庭

#### ≫ 支給額

援助される費目や金額は各自治体によって異なるため、居住地の自治体のウェブサイトなどで要確認

### ● 高等学校等就学支援金制度 高校生など

国公立問わず、高等学校等に通う生徒に対して支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減

#### ≫ 対象者

高等学校や専修学校高等課程等に在籍している者  
※保護者等の市町村民税所得割額が30万4,200円以上の者を除く

#### ≫ 支給額

11万8,800円（年額）  
※私立高校等に在学している者は保護者の市町村民税所得割額に応じて加算

### ● 高校生等奨学給付金 高校生など

就学が困難な高校生等がいる低所得世帯を対象に教科書費、教材費、学用品費などの授業料以外の教育費負担を軽減するために給付金を支給

#### ≫ 対象者

高校生等がいる生活保護受給世帯または都道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額が非課税の世帯

#### ≫ 支給額

生活保護受給世帯：3万2,300円、非課税世帯（全日制等）11万100円～、非課税世帯（通信制）4万8,500円～  
※上記は国の補助基準。各都道府県で異なるため、居住地の都道府県ウェブサイトなどで要確認

### ● 高等教育の修学支援新制度 大学生など

低所得世帯の子どもに対し、大学や専門学校などに進学する際に入学金や授業料が減免となり、給付型奨学金を支給

#### ≫ 対象者

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生

#### ≫ 支給額

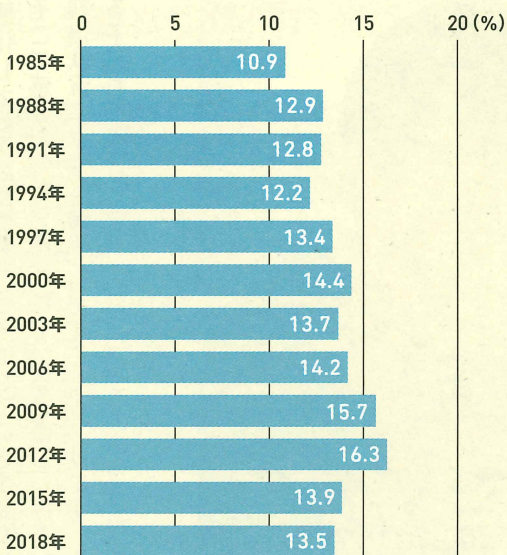
住民税非課税世帯かつ自宅外通学で国公立大学に進学した場合、入学金約28万円と授業料約54万円を上限に減免し、年額約80万円の給付型奨学金を支給



グラフ1

### 日本の子どもの貧困率

出典：厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査」



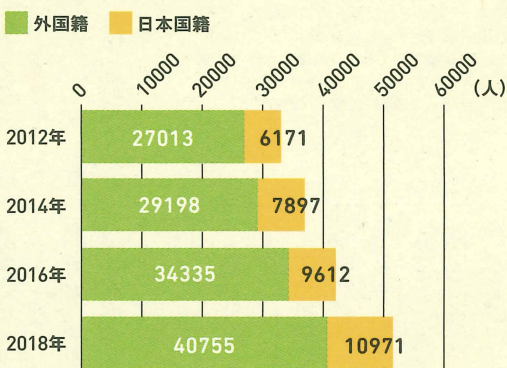
大禍により顕著になったと感じます。何ともやり切れない思いです。感染症の経済的影響は、今後さらに大きくなると思います。近年、子どもの貧困率が最も高くなったのは2012年の16.3%です。これは09年のリーマンショックの影響と言われており、時間差があることが分かります。今回はこれを上回る影響があ

グラフ2

### 公立学校における 日本語指導が必要な児童生徒数の推移

出典：文部科学省

「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成30年度）」

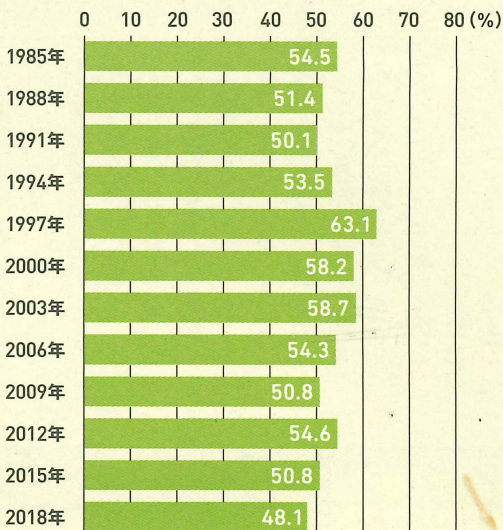


日本語が分からず特別定額給付金の申請ができないなど、必要な支援にアクセスできない情報格差の問題もあります。勤務校の敷地内にある夜間中学校には、南米や東南アジアからの生徒が増えているのですが、休校中、連絡したくても伝達手段がない、というケースも多かったです。

グラフ3

### ひとり親家庭の貧困率

出典：厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査」

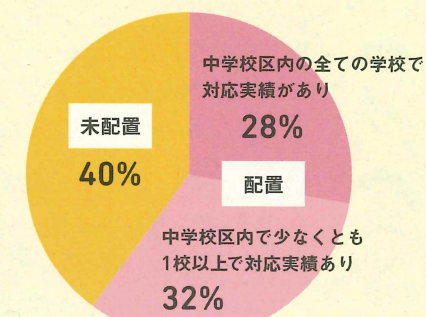


子どもの貧困率は48.1%に上っています（グラフ3）。厳しい状況に置かれやすい家庭に重点的に支援を届ける体制づくりは不可欠です。他職種との連携に課題 人員確保・育成が急務 「GIGAスクール構想」の前倒しで、1人1台タブ

グラフ4

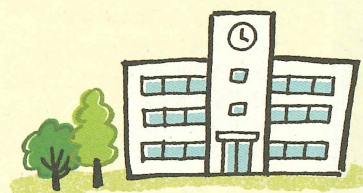
### スクールソーシャルワーカーの 配置状況\*

出典：総務省「学校における専門スタッフ等の活用に関する調査」結果報告書（2020年）



\*ここでいう「配置」とは、「中学校区」において少なくとも1校以上SSWの対応実績があることと定義

会につなぐことがありますが、保護者に手続能力がなかったり、言語の問題で内容が理解できなかったりして申請を諦めてしまう。教員が常に付きっきりでサポートするには限界があります。13年に「子どもの貧困対策法」が成立し、福祉領域はスクールソーシャルワーカー（SSW）が担うという方向性が



めの予算や体制整備を進めてもらいたいと強く思います。



# 子どもたちにできる限り多くの選択肢を見せたい

教育系YouTuber

葉一さん



1985年、福岡県生まれ。東京学芸大学卒業後、茨城県の教材販売会社を経て、学習塾に転職。3年間勤務した後、2012年から経済的事情から望む教育が受けられない教育格差の解消をめざして、You Tubeに授業動画の投稿を始める。活動理念と分かりやすい授業が評判を呼び、TBS「情熱大陸」等でも紹介される。2020年7月、「とある男が授業をしてみた」のチャンネル登録者数が100万人を突破（21年3月現在135万人）。2児の父。

— 教育系YouTuberとして多くの授業動画を投稿されています。

大学入学時は卒業後すぐに教員になるつもりでしたが、でも、学生生活や教育実習を通して、自分の未熟さや視野の狭さを思い知り、子どもの前に立つ前にもっと社会経験を積もうと、修行のつもりで「飛び込み営業」の仕事に就きました。夢中でやっていたうちに、持病が悪化して塾講師に転職。そこで感じたのが、家庭の経済状況によって塾に通える子どもは限られるけれど、通えない子にこそ自分の授業が必要とされている、ということなんです。そんな時、YouTubeに授業動画を投稿すれば誰でも無料で見られると思いつき、翌日から配信を始めました。

最初はほとんど見てもらえず、再生回数が確認のために自分が見た回数と同じということもありました。でも、諦めずに投稿を続けると、子どもたちに少しずつ浸透していききました。続けていくと嬉しい声をいただくこともあり。ある日、「うちの子は不登校で

したが、動画で勉強して期末試験で一桁台の順位が取れました。それが自信になつて登校できるようになり、そのまま卒業まで通えました」とコメントが入っていました。活動が報われたと思つた瞬間でした。

— コロナ禍でオンライン教育の必要性が語られるようになってきました。

一斉休校が報道された時、生活習慣が乱れることで学校再開時に適応できない子どもたちが出るだろうと思っていました。少しでも力にな

れればと、「午前中に一緒に勉強しよう」と呼びかけ、「自習室」の放送を始めました。休校でも朝起きてきちんと勉強することができたら、自己肯定感も保てると思つたんです。子どもたちには、「焦らなくても大丈夫だよ」と伝えるようにしていました。

この案は海外のYouTube文化「Study with me」が土台です。作業動画を配信し、それを見ながらみんな勉強したり、作業したりする。この方法で子どもたちはおとなの想像以上に集中して勉強するんです。仲間や尊敬する人と「一緒にやっている」ということが安心感とやる気につながるのだと思います。ICT教育というと、個別学習のツールという面が強調されますが、それだけではないと気付かれました。

— 葉一さんは2児の父親でもあります。どんな子育てをしていますか？

よく言われることですが、つい我が子には厳しくなってしまうんです。「なんでこんなこともできないの」と、他人の子には絶対言わないことを口にしてしまう。そんな時は、自分の一言は本当にこの子のためにプラスになるのか、と問いかけるようにしています。

また、自分の役目をシンプルに考えるようにしています。「あれも、これも」と多くを抱えると、余裕が

なくなり、子どもに当たつてしまふかもしれません。そんな負のスパイラルに陥らないよう、僕は役割を二つに絞り、それを軸に自分の言動を決めています。

一つは子どもに「選択肢を見せる」こと。例えば、スポーツの習い事という水泳やサッカー、ダンスなど子ども自らが知りえる競技は限られています。そこで「ボルダリングもあるよ」と、調べて見せてあげる。選ぶのはあくまでも子どもたちです。

もう一つは「知的好奇心が育つ環境をつくる」こと。新しいことを知るの楽しいと思いつけてもらいたい。だから、そのために子どもが何かに興味を持ったらまずは肯定します。

— 保護者や教職員にメッセージをお願いします。

SNSでの子どもたちとのやり取りを通して実感していることがあります。それは、僕がYouTube上でどんなに熱を込めて話してもそばにいる保護者や教職員の一言には敵わないということなんです。彼らは周りのおとなのことをよく見ていますし、言ったことを覚えています。表ではそつけない素振りや反抗的な態度だったとしても、その裏には必ず親や先生に好かれたという気持ちがあります。だから、自信を持って本音で子どもたちと接してもらいたいんです。

## みなさまの声をお寄せください!



松坂桃李さん、葉一さんのメッセージを読んだ感想や「子ども応援便り」の内容について、みなさまのご意見をお聞かせください。



寄せられた声は、ホームページや次号の紙面で紹介します。また、みなさまのご意見は、わたしたちが文部科学省などにお伝えして、豊かな教育の実現に役立てていきます。



はがき、FAX、メール（携帯電話からも可）もしくは応募フォームから、①住所②名前③年齢④次号で取り上げてほしい憧れの人を明記のうえ、どしどしお寄せください。

※①はお住いの都道府県名と市区町村名までで結構です。②は匿名可。④でリクエストの多かった肩を、次号で取り上げさせていただきます。



はがきのあて先 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-5-10 日本橋人形町郵便局留め「子ども応援便り」編集室

FAXの送り先 03-5645-2844 メールの送り先 info@kodomo-ouen.com

ホームページ http://www.kodomo-ouen.com/

【発行元・連絡先】教育関係団体連絡会 事務局内「子ども応援便り」編集室 TEL:03-5643-5110

編集室まで声をお寄せいただいた方の中から、松坂桃李さんのサイン色紙を1名に、葉一さんのサイン入り著書を2名にプレゼントします。ご希望の方は、①住所②氏名③年齢④次号で取り上げてほしい憧れの人⑤希望のプレゼントを明記のうえ、ご応募ください。



左/取材終了後、談笑しながらも、ていねいな字で書かれた松坂桃李さんのサイン色紙。右/葉一さんのサイン入り著書『自宅学習の強化書』

【発行】子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会(23団体)

- (公社)日本PTA全国協議会
- (公社)日本教育会
- 全国市町村教育委員会連合会
- 全国都市教育長協議会
- 中核市教育長会
- 全国町村教育長会
- 全国連合小学校長会
- 全日本中学校長会
- 全国公立小・中学校女性校長会
- 全国特別支援学校長会
- 全国連合退職校長会
- 全国高等学校長協会
- 全国公立学校教頭会
- 全国特別支援教育推進連盟
- 全国へき地教育研究連盟
- 日本連合教育会
- 全国養護教諭連絡協議会
- 全国公立小中学校事務職員研究会
- (公社)全国学校栄養士協議会
- 全国教育管理職員団体協議会
- 全日本教職員連盟
- 日本高等学校教職員組合
- 日本教職員組合